

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語演習Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		0259		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		電子情報工学科		対象学年	5		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		教員が準備する					
担当教員		山村 啓人					
到達目標							
様々な事柄について書かれた日本語を、正確な英語で表現できるようになること。編入試験や論文執筆、仕事上英文メールを書いたりする際の基礎となる英語ライティング力を養う。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		正確な英文を書く上で必要となる文法運用能力と語彙力を十分身に付けている。		正確な英文を書く上で必要となる文法運用能力と語彙力を概ね身に付けている。		正確な英文を書く上で必要となる文法運用能力と語彙力をほとんど身に付けていない。	
学科の到達目標項目との関係							
MCCコア科目 ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要		(目標) 様々な事柄について書かれた日本語を、正確な英語で表現できるようになること。 (概要) 様々な事柄について書かれた日本語をペアで英訳する。その上で講義を聞き、日本語と英語の発想、表現の違い、また正確な英文を書く上で必要となる英文法や語彙の知識について学ぶ。					
授業の進め方・方法		教師単独による問題演習、全体講義					
注意点		・評価が60点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められたものにあつては、その評価を60点とする。 ・必ず辞書とノートを持参すること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション ニーズ分析アンケート		授業の基本的な考え方、進め方のガイダンス		
		2週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		3週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		4週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		5週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		6週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		7週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		8週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
	2ndQ	9週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		10週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		11週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		12週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		13週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		14週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		15週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
		16週	翻訳演習		適切に英文法と語彙を運用し、日本語を正確かつ自然な英語に訳すことができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0